

令和2年3月

新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業に伴う 令和2年度の教科書の取り扱いにつきまして

教育出版株式会社
編集局社会科

この資料は、弊社発行の『小学社会』・『中学社会』をご利用いただいている学校において、このたびの臨時休業措置により指導できなかつた可能性のある内容の取り扱いについてお示ししたものです。令和2年度の学習指導計画につきましては、この資料を参考にしていただき、各学校の実状に応じて作成していただきますようお願い申し上げます。

※教育出版作成の「学習指導計画 総括表(案)」と、この文書を合わせてご確認ください。幸いでは、
※学習指導要領に基づき、第1～2学年において地理的分野と歴史的分野を並行して(π型)、第3学年では歴史的分野を先行学習することを想定した「学習指導計画 総括表(案)」をもとに作成しております。

I. 小学6年 → 中学1年 …「学習指導計画 総括表(案)」中の **I** をご覧ください。

○平成27年度版の教育出版『小学社会6』の弊社作成の学習指導計画案において、令和2年3月に学習することを想定していた内容

「2. 世界の人々とともに生きる」(p.62～79)・・・配当時数8時間相当

《第6学年 内容(3) 「世界の中の日本の役割」》



☆この内容について、令和2年4月に、平成28年度版『中学社会 地理 地域にまなぶ』を学習していく中で扱うことを想定した場合。

→ 中学社会地理的分野の第1編・第1章「私たちの地球と世界の地域構成」と合わせて扱うことができます。特に「②200 近くの国々からなる世界」、「③国名や国旗から世界をみると…」の学習と関連づけて、「国際連合」「国旗」の学習を行い、増加時数は「総括表(案)」に示した第1学年の「予備(7月末と、12月末に設けられた合計10時間分)」の中で補うことができます。

II. 中学1年 → 中学2年 …「学習指導計画 総括表(案)」中の **II** をご覧ください。

○平成28年度版の『中学社会』の弊社作成の学習指導計画案において、令和2年3月に学習することを想定していた内容

＜『中学社会 歴史 未来をひらく』における、「第4章 近世の日本と世界」中の＞

「2 天下統一への歩み」(p.98～103)・・・配当時数3時間相当

「3 幕藩体制の確立と鎖国」(p.104～113)・・・配当時数4時間相当

《歴史的分野 内容(4) ア・イ》



☆この内容について、令和2年4月に、平成28年度版『中学社会 歴史 未来をひらく』を学習し

ていく中で扱うことを想定した場合。

→ 「総括表(案)」の第2学年の4月にそのまま組み込んで扱うことができます。増加した時数7時間分については、「総括表(案)」に示した第2学年の「予備(7月末と、12月末に設けられた合計8時間分)」の中で補うことができます。

Ⅲ. 中学2年 → 中学3年 …「学習指導計画 総括表(案)」中のⅢをご覧ください。

○平成28年度版の教育出版『中学社会』の弊社作成の学習指導計画案において、令和2年3月に学習することを想定していた内容

＜『中学社会 地理 地域にまなぶ』における、「第2編 日本のさまざまな地域」中の＞

「第4章 身近な地域の調査」(p.251～265)・・・配当時数8時間相当

《地理的分野 内容(2) 「エ 身近な地域の調査」》

↓

☆この内容を、令和2年4月に、平成28年度版『中学社会 歴史 未来をひらく』と合わせて学習していく中で扱うことを想定した場合。

→ 「総括表(案)」の第3学年の4月の単元「★身近な地域の歴史を調べる活動」と当該の地理的分野「身近な地域の調査」を合わせて10時間程度で学習することができます。増加した時数については、「総括表(案)」に示した第3学年の「予備(7月末に設けられた7時間分)」の中で補うことができます。

*「★身近な地域の歴史を調べる活動」については、教科書5ページ「◆特設ページ」の説明にあるように、各時代に設けられた「郷土の歴史を探ろう」の全5テーマの学習がそれにあたります。

以上